

変えよう!
兵庫県政

憲法が輝く兵庫県政をつくる会
第6号 2012年5月27日
メール: Info@kenpo-kensei.com
ブログ: 「憲法どおりの兵庫を!」 検索

選挙まであと1年 学習を力に地域へ

5月16日 第8回定期総会を開催



「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」は、5月16日に第8回定期総会を開催し103人が出席しました。総会は、2013年知事選挙にむけた政策づくり、候補者よりの到達点と展望をしめすとともに、政策アピール(第一案)を発表し、県政要求の結集と学習運動で地域に打って出ようという意気高く確認しました。

総会議事は、前田代表幹事の開会あいさつのおと、桜井幹事、松山幹事の議長で進行され、北川事務局長が2013年知事選挙に向けた運動方針の強化点を提案。ついで、森幹事が県政をめぐる情勢を踏まえた政策アピール(第一次案)、田中代表幹事が役員体制、日高事務局長次長が決算予算の提案を行いました。

IT機能の積極的活用を提起
石川代表幹事からは、HPリニユーアルも含めたIT機能の積極的活用が映像も交えて呼びかけられました。討論では、地域の会や加入団体から切実な要求や、その実現の取り組みが報告されました。

すべての議案が提案通り採決され、最後に武村代表幹事が閉会あいさつをおこないました。また、総会では、兵庫県自治体問題研究所の岡田章宏理事長から来賓あいさつを頂きました。(2面参照)

【あいさつ・発言(大要)】
前田修代表幹事
2013年の次期知事選挙まで一年余りとなりました。総会の目的は、私たちの取り組みの到達点をお互いに確認し、選挙本番にむけた活動方針を深めること、そしてその方針を先頭にたつて実行する役員体制を決めることです。積極的な提案 報告をお願いします。

西区の会 松本勝雄さん
政令市でも多くの県政要求があると実感しています。神鉄粟生線廃止反対の運動で県はようやく一定の支援を打ち出しましたが、かわりに合理化、人員削減を求めています。公共交通の運営は国、自治体の責任を明確にし、住民参加で取り組むべきです。

県立明石西公園の廃止を運動で事実上ストップさせることもできました。こうした運動と共同できる私たちの知事を実現していきたいと思えます。

佐用の会 平岡きぬゑさん
09年夏の台風による死亡18人、行方不明2人の大災害から3年を迎えます。千種川の河川事業が進められており、静かなまちを大型トラックが行きかっています。合併で大規模な学校統廃合がすすめられようとしています。小学校は10校を4校に、中学校は4校を1校にというものです。2013年には佐用町長選挙もありま。知事選挙と連動してがんばりたいと思います。(2面に続く)



のり(憲)のり(法)コラム

フランスとギリシャの国民がいわゆる緊縮一辺倒の政策にノーを突きつけました。国民に犠牲を押しつける増税の推進や、社会保障の削減政策に対する大きな批判は、この二国にとどまらず、世界に広がる勢いです。

「コンクリートから人へ」「くらし優先」をかかげて政権交代した民主党政権も、野田内閣で三代目ですが、その政策は「自公」が戸惑うくらいに「自民党的」です。

原発再稼働、基地おしつけ、TPP参加推進、消費税大増税など、国民の批判を蹴散らしながら暴走しています。

税と社会保障の一体改革といながら、医療、年金、介護、子育て、障害者福祉などなど、社会保障はメッタ斬りの大改悪ばかり。拡充策などまったく語れないのに、将来不安はしつかりあり、おどしの言葉をちりばめる野田首相には、世界が見えていません。

わが兵庫県の相生市は「保守的」な市政と言われていますが、幼・小・中の給食費を無料にしたり、中学三年生までの医療費を無料化や、子育て世帯への援助も充実。市民が笑顔になる政治です。

こうした政治こそ未来を開くのでしょ。(T)





来賓あいさつ 兵庫県自治体問題研究所 岡田章宏理事長

自治体問題研究所は、住民本位のまちづくりを基本に、地方自治のありようを研究しています。

毎回の知事選挙においても『これでいいのか兵庫県政』という冊子をつくっています。井戸県政は3期12年になりますので、今回は12年を丸ごと検証しようと考えています。

ところで、井戸知事自身は、12年の県政をどう評価しているのでしょうか。昨年の「神戸新聞」では、「阪神・淡路大震災から15年の節目を経るなかで、創造的な復旧・復興をすすめる、新しい兵

庫の方向性を示した。これが東日本大震災で兵庫県を先頭にした関西広域連合の支援につながった。秀ではないが、優か良だ」と自負しています。「創造的復興」とは、住民の立場からの復興ではない、東日本大震災でも、悪名高き言葉です。これを、自分を評価する言葉として使っています。

私たちは、憲法の立場から、そこに住む一人ひとりの生活の立場から、県政を分析、評価し、それにたいするアンチテーゼをだしていく必要があると考えています。

ぜひ、みなさん方も来年にむけてがんばっていただきたいと思えます。活発なご議論で、来年にむけた出発点となるよう祈念します。

宝塚の会 松下修治さん
住民本位の市政が誕生して3年になります。市長は平和問題にいち早く取り組むとともに、限られた財源の中でも市民の願いを実現しています。保育所待機児童ゼロをめざして2園を建設し、学校図書館に専任司書を配置してきたことなどです。また原発に依存しない社会づくり、消費税増税に反対の市政を表明しています。市から県へ再生可能エネルギー導入、定時制高校の廃止阻止などの要望をしていますが、知事は耳を傾けようとしていません。

杉本ちさと県会議員
知事は、社会保障と税の一体改革を応援し、消費税増税を一貫して求めてきました。そして行革プランで福祉・教育予算を削減し、

えています。学校統廃合は、地域ぐるみの運動で存続させました。しかし柏原看護学校の廃止は住民の知らない内に進められ、建物があまる間に再開させていきたいと思



3月に開いた「災害と復興を考える」学習会

磯谷吉夫「憲法県政の会」代表
国政、県政で大企業優先、TPP、原発でアメリカ優先の政治が進められています。こうした中、政治の転換をもとめる声がまんえんしています。いよいよ次期選挙まで一年となりました。中には眠っている地域

重工産業労組 神野忠弘さん
三菱商船の撤退により地域経済が大きな打撃を受けています。中小企業も銀行からの圧力により海外志向を余儀なくされています。中小企業・農業・地域を応援する経済政策、格差と貧困の中でくらしを支える政策を打ち出していくことが大切です。

職員も減らされてモチベーションが落ちています。財政赤字の理由は震災復興とされていますが、94%は震災復興に乗じた大型公共工事によるもので、被災者のためには6%だけでした。

武村義人代表幹事
医師として働く中で、お金がなく健康を悪化させている方と接することが大変多くなっています。医療現場から見える県民、ま今の現状は大きな病に瀕しているといえます。加えて、生活保護の捕捉率の低さ、病院つばしなどで、県民の命と健康が脅かされています。また、兵庫県は行革プランによる県職員3割削減という、大阪以上の公務員攻撃がこいつしよに変わっていきましよう。

「兵庫・憲法県政の会」 2013年選挙一年前にむけて 主な予定 京都の選挙に学ぶ会

(日時) 6月14日(木) 午後6時30分
(会場) 神戸市勤労会館2階多目的ホール
(講師) 京都市政を刷新する会事務局長

「選挙1年前決起集会&街頭宣伝」

(日時) 7月7日(土) 午後1時30分~4時頃
(会場) 兵庫県私学会館206号室
(宣伝) 集会后、元町大丸前で宣伝

県政学習・討論集会

11月18日(日) 午後1時

この他、全県での総会報告会、宣伝キャラバンなどを計画しています。ブログ、ニュースでお知らせしていきます。



70億円もつぎ込んだが船が来ず「釣り堀」と化した淡路交流の翼港

ITを活用した情報発信へのご協力を ブログ更新ML登録のお願い

「会」では、毎週月曜日に1週間のブログ更新のお知らせをMLで配信しています。次期選挙にむけ、ML登録者を増やす運動に取り組んでいます。

ぜひ、登録いただきますようお願い致します。

ツイッターフォローとリツイートをお願い

7月のホームページリニューアルの一環として、幹事などによる「つぶやき」ツイートを始めました。フォロー、リツイートをお願いします。